

## 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年3月16日

事業所名 あかいわ児童発達支援センター(児童発達支援)

| 項目       |    | はい | いいえ                                    | 工夫している点                                             | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標                                        |
|----------|----|----|----------------------------------------|-----------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| 環境・体制整備  | 1  | ○  |                                        | 指導訓練室を仕切り、個別のスペース等設けている。                            | 利用調整を行い、グループに偏りが生じないようにする。                                      |
|          | 2  | ○  |                                        | グループ毎に状況を見ながら調整している。                                | 職員配置数は満たしているが、個別対応を要する場合の職員配置について課題が生じている。療育時間をカバーする職員の確保に努めたい。 |
|          | 3  | ○  |                                        | 事業所内は、バリアフリーを意識して設計されている。                           |                                                                 |
|          | 4  | ○  |                                        | グループに合わせて、午前午後とその都度環境設定を行っている。                      |                                                                 |
| 業務改善     | 5  |    | ○                                      | 会議などで日々の振り返りを行い、他者の意見を取り入れながら業務を行っている。              | 感染症対策などにより、ミーティング等会議の時間が確保しづらくなっているので、業務の見直しを行う。                |
|          | 6  | ○  |                                        | 毎年、1回保護者評価を実施して意見聴取を行っている。                          |                                                                 |
|          | 7  | ○  |                                        | ホームページでの公開と、保護者に対して、結果表を配布している。                     |                                                                 |
|          | 8  |    | ○                                      | 外部評価の実施はしていない。                                      |                                                                 |
|          | 9  | ○  |                                        | 内部研修として、根っこの広場合同研修会議を行い、障がい特性や事例検討など行っている。          | オンライン研修など活用して、外部研修の機会を増やしていく。                                   |
| 適切な支援の提供 | 10 | ○  |                                        | アセスメントシート等を活用しての現状把握と、言語聴覚士によるアセスメントをもとに計画作成を行っている。 | アセスメントの結果をどう活用するかスキルを高められるよう研修及びOJT行う。                          |
|          | 11 | ○  |                                        | こどもの発達を支えるアセスメントシートや太田ステージ他活用している。                  |                                                                 |
|          | 12 | ○  |                                        | 6か月ごとにモニタリングを行い、各項目について検討、設定している。                   | 保護者にとってわかりやすい言葉と説明ができるようにする。                                    |
|          | 13 | ○  |                                        | 支援の内容について振り返りを行い、現状に合わせた支援を日々のミーティングで確認している。        |                                                                 |
|          | 14 | ○  |                                        | グループ担当で前日等に打ち合わせ時間を設けている。                           |                                                                 |
| 15       | ○  |    | 利用時の状況に合わせて、固定する活動と展開させていく活動に分けて行っている。 |                                                     |                                                                 |

|              |    |                                                                                                       |   |   |                                      |                                                  |
|--------------|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|--------------------------------------|--------------------------------------------------|
| 適切な支援の提供     | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか                                                         | ○ |   | 小集団活動を基本に置き、言語療育等個別の療育を取り入れるようにしている。 |                                                  |
|              | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか                                                       | ○ |   | グループ担当で前日等に振り返りと打ち合わせを行う時間を設けている。    |                                                  |
|              | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか                                                  | ○ |   |                                      |                                                  |
|              | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか                                                                 | ○ |   | 特記事項をその都度記録している。                     |                                                  |
|              | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか                                                                | ○ |   | 6か月ごとにモニタリングをおこなっている。                |                                                  |
| 関係機関や保護者との連携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか                                                    | ○ |   | 児童発達支援管理責任者と場合により担当職員も会議に出席している。     |                                                  |
|              | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか                                                                |   | ○ |                                      | 関係機関との連携に努めているが、こどもによりばらつきがみられる。情報共有には努めたい。      |
|              | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか→対象児利用なし                             | — | — | —                                    | —                                                |
|              | 24 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか                                        | ○ |   | モニタリング結果等保護者を通じて情報提供している。            |                                                  |
|              | 25 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか                                                   | ○ |   | モニタリング結果等保護者を通じて情報提供している。            |                                                  |
|              | 26 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか                                             |   | ○ | 市内の各事業所との情報交換会を行った。                  | 今年度については、他事業所への訪問など控えている。感染症の状況を見ながら、連携を進めていきたい。 |
|              | 27 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか                                                             |   | ○ | 感染症対策により交流できていない。                    | 状況を見ながら、センター利用のこどもについて、目的を持った交流を行いたい。            |
|              | 28 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか                                                              | ○ |   | 自立支援協議会の部会への参加はしている。                 |                                                  |
|              | 29 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか                                                       | ○ |   | 連絡帳により日々の活動についてはお伝えしている。             | 併行通所のこどもについては保護者と直接お会いできる機会が少ないため、何らかの機会が必要である。  |
|              | 30 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか                                           | ○ |   | 親子療育の機会を設けて、こどもの関りについて具体的に伝えている。     |                                                  |
| 保護者への説明責任等   | 31 | 運営規程、(支援の内容)利用者負担等について丁寧な説明を行っているか                                                                    | ○ |   | 入所時に個別に説明している。                       |                                                  |
|              | 32 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | ○ |   | 個別懇談の時に、説明し、同意を得ている。                 |                                                  |
|              | 33 | (定期的に、)保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか                                                      | ○ |   | 懇談時または、その都度事業所内相談で対応している。            |                                                  |
|              | 34 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか                                                         |   | ○ | 感染症対策により、活動を控えている。                   | 感染症の状況を見ながら、進めていく。                               |
|              | 35 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか                           | ○ |   | 施設内で検討し、保護者に回答するようにしている。             |                                                  |
|              | 36 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか                                                     | ○ |   | 毎月施設だよりを発行している。                      |                                                  |

|         |    |                                                                             |   |   |                                                             |                              |
|---------|----|-----------------------------------------------------------------------------|---|---|-------------------------------------------------------------|------------------------------|
|         | 37 | 個人情報の取扱いに十分注意しているか                                                          | ○ |   | 個人情報の保管場所については鍵がかかる場所への保管を徹底している。                           |                              |
|         | 38 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか                                       | ○ |   | 要点を箇条書きにするなど連絡文書はわかりやすさを重視している。また、見本を提示するなど視覚的にもわかりやすくしている。 |                              |
|         | 39 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか                                         |   | ○ | 感染症対策のため控えている。                                              |                              |
| 非常時等の対応 | 40 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか        | ○ |   | 法人としてマニュアルは策定している。危機管理マニュアルについて、どなたでも閲覧できるよう玄関靴箱上に置いている。    |                              |
|         | 41 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか                                         | ○ |   | 毎月避難訓練を行っている。                                               |                              |
|         | 42 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか                                          | ○ |   | 事前に共通認識事項として、職員間で周知している。                                    |                              |
|         | 43 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか                                       | ○ |   | 調理担当者がアレルギー診断書に基づき対応している。                                   |                              |
|         | 44 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか                                                  | ○ |   | 毎月職員会議で確認、検証している。                                           |                              |
|         | 45 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか                                         | ○ |   | 外部研修に参加したり、合同研修会議で事例検討するなどしている。                             |                              |
|         | 46 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか |   | ○ |                                                             | 早期に身体拘束に関する規定等の整備を令和3年度中に行う。 |